

全国キャラバン・連鎖集会 ニュース速報

発行：国鉄労働組合
東京都港区新橋 5-15-5
TEL 03-5403-1641
2006年6月15日第97号

国労がしっぴかり団結して頑張っほしい

なんせしても年内解決 長野地本

6月12日、札幌闘争団牧田団長と北見闘争団前北団長と共に、15時から松本市内へ場所を移動し、松本市職労、全農林中信分会（松本統計・食糧）、県職労松本支部、松本水道労組、アルピコ労組松電支部、松本地区労組会議など支援単組まわりを行ない、今日までの

御礼と引き続き支援を訴えました。支援の仲間からは「長い闘いになってきているが、国労がしっぴかり団結して闘ってほしい。解決まで支援を続ける」と力強い激励をうけました。

17時30分から最後の街宣となる松本駅頭での宣伝、チラシ配布行動おこないました。引き続き18時30分より、松本市・駅前会館において「全国キャラバン長野行動」集約集会を開催し、宮下松本地区労組会議議長、飯田県支援共闘会議議長からあいさつを受け、北見闘争団前北団長、札幌闘争団牧田団長それぞれから「なんとしても年内に解決！」との力強い決意表明がされました。

支援共闘を代表し、安曇野地区労組会議村山議長、松本市職労横内委員長のお二人から「地域で闘争団の闘いを支援していく」と心強い激励のあいさつをいただきました。

最後に平山副委員長より支援共闘の仲間への感謝と闘いへの決意表明、新聞意見広告カンパのお礼、6・16集会への結集が呼びかけられ、宮下松本地区労組会議議長の音頭による団結ガンパローで集会



を閉じました。街宣行動および集会参加者は100名を超えました。今回の「全国キャラバン行動」では、前段の取り組みとして、6月5日から9日まで、東北信支部、中南信支部、車両所支部、各地区協・分会が協力しあい、県下各地に宣伝カーを回すと共に、貨物協議会による駅頭チラシ配布行動（団地を含め6000枚の配布）など、「一人一行動」を基本に、地本独自行動を展開しました。